

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaka/>

2010.07.11 第22号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

小さな小さな
音楽会

フルート演奏会は超満員♪

6月12日（土）の夕刻から始まった大塚由貴さんのフルートの演奏会に、80名の人たちが聴き入りました。会場のベルグはこれ以上入れないというくらい超満員にふくれあがりました。

藤井快哉さんのピアノとの息がぴったりあったフルートの生の音色は、満員の人々をうっとりさせました。「フルートって、こんなに音域が広く出るんだ」「小鳥のさえずりの音色がすごく良かった」と感嘆する中、最後の日本の歌メドレーで演奏会は最高潮に達しました。

アンコールのあと、高校生が贈った花束は、船坂産の花々を手作りの包装紙で包んだものでした。そして、小さな子どもから贈呈した野菜は、船坂の野菜を手編みの籠に入れたものでした。演奏されたお二人は「どこの演奏会でいただく花束よりも心がこもっていて、とても嬉しい。船坂野菜のお土産までもらって最高！」と喜んでおられました。演奏前に食事を楽しまれた人たち、演奏後にお茶とケーキで談笑された人たち。思い思いに音楽の夕べを楽しまれていました。

小さな集落で開く音楽会は今回で5回目でした。いつも80人程（船坂人口の1割）が聴きにいられています。現代美術だけじゃなく、船坂には音楽も根付きつつあります。小さな音楽会企画委員の皆様、ありがとうございました。また次の音楽会を期待しています。（池田 竜和）



いま“たんぼぼ”は、こんなことをしています

子どもたち
全員集合!!

私たちは8年前から旧船坂小学校で図書ボランティア“たんぼぼ”として子どもたちへの読み聞かせやクリスマス会等の活動をしてきました。小学校は閉校になりましたが、地域での子どもの居場所作りを目的に、旧船小ランチルーム内の図書室をお借りして月1回の図書室開放や善照学園での読み聞かせなどの活動をしています。

毎月、楽しい企画を考えていますので、船坂に住んでいる幼児さんや小学生はもちろん、帰省中のお孫さんなどもぜひ来ていただけたら嬉しいです。お待ちしております。～バ(^ ▽ ^)マッテルヨ♪

基本的活動日

☆図書室開放

日時：毎月最終日曜日 10時～12時
内容：読み聞かせ、工作、外遊びetc

☆読み聞かせ

日時：毎月第3水曜日 9時～10時
場所：善照学園

内容：読み聞かせ、工作、リズム遊びetc
地元の子もぜひぜひご参加ください。

※正式日程は毎月の自治会回覧で確認ください。

（坂本明美）



株式会社 キューコーポレーション
〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041
FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com
代表取締役 植松 稔晶

7月のコンサート予定

7月18日（日）並河寿美

＆噴 雅彦

オペラコンサート

要：電話予約

Tel: 078-903-1172



創業昭和八年

北福豊店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660



新企画!!

船坂若者（わかもん）座談会

“今、実際に船坂に住む若い人たちは、今の船坂をどう思ってるんだろう？”

そんな素朴な疑問を解消すべく、船坂新聞では船坂に住む20代の人たちを対象に座談会を企画しました。その結果、5名の方に参加いただきましたので、6月20日（日）にJ A 船坂出張所のふれあい会館で行われた座談会の模様を、数回に分けてご紹介します。

第1回目は「船坂の好きなところ・嫌いなところ（主観）」「船坂の善し悪し（客観）」を語っていただきます。（以下、参加者はA～E、進行スタッフは（編）で表記）

【船坂の好きなところ・嫌いなところ】

- (A) 小学校も山に接してるし、ホテルも飛んでるし、自然に恵まれてずっと住んでいたいところ。近所の人が普通に話しかけてくれる所も他の地域にないだろうし、いいなあと思います。悪い所は交通が不便なところ。通勤通学が本当に大変。
- (B) 好きな面・嫌いな面両方含めて船坂は“田舎”だなあと思います。好きな面はのどかなところ。嫌いな面は、絶対数が少ないこともあって同級生の交流の少なさと、行事で人手がないと特定の人ばかり頼りにされるところ（苦笑）。また、南北バスでましになりましたがバスの最終時間が早いこと。車があれば便利なんで住めないとは思いませんが。
- (C) 子どもを遊ばせるには自然が豊富でバランス感覚が養える環境だと思います。嫌いな面は、小中学校への通学含めた交通面の不便さ。あと、船坂公園にもう少し遊具の種類があればいいんですけど。もっと充実してほしいなあ。
- (D) 自然豊かでのどかな所が好きです。嫌いな面はやっぱり不便なところ。車がないと行動範囲が本当に限られます。
- (E) 基本的には好きです。ただバスの最終便が早く、遅くなると帰れないのが辛いです。飲みに行った時は特に（笑）。



【船坂の良いところ・悪いところ】

- (A) 教育面では、自然に触れあえる教育が可能な所が良いです。でも人数が少なすぎて1年～6年まで他との関わりが持てなかったのが、対応力を養うという面ではマイナスかな。中学校に進んで結構悩んでいた子もいましたし。だから、山口小学校の出来上がった子ども社会の中に入らざるをえなくなった船小の在校生たちが心配です。
- (B) 自然が多く、遊ぶ所が多いことが良い面。悪い面は、学校閉校で若い人はますます船坂に住みに来なくなるでしょう。あと、全体的にみて繋がりが有るようで無いところ。人口が少ないわりに広範囲なので、自分の家から離れた場所のことは接触がないためさっぱりわからず、コミュニケーションが取りづらいです。
- (編) 若い人は付き合いをめんどくさがる印象があるけれど、コミュニケーションはやっぱりあったほうがいい？
- (A) 高齢者の方も多いので「あ、今日はちょっと元気なさそうだな」とか、その人たちの体調などを周りの人たちはわかっていたほうがいいと思います。
- (C) 神戸のマンションに住んだことがあります。近所づきあいは薄かったです。隣近所に引越しの挨拶にいくと「今どきそんなことする人はおらんよ」と驚かれました。そんな人よりは人間味があるほうがいいですね。
- (D) 悪いところかどうかわかりませんが、船坂の中での社会・対人関係がよくわからないので、その中で“自分の位置”をどこにおけばいいのか判りづらいことはあります。隣保長が誰なのかとか、その人の顔もわかってないとか…。
- (E) 船坂は規模的に小さくないと思いますが、地元で何か活動をするようになった時、消極的な人が多いのか、参加する人がかなり限られてるようになっています。船坂を何とかしようとなった時、もっと多くの人立ち上がったらいいのになとは思っています。

以下、次号に続きます…（座談会企画委員 文責：中西学）



西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地
Tel/Fax 078-903-1158

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL 078 (904) 2603
バスデケーキをお宅までお届けします。
（山口町内 無料配達いたします。）

Kawahara Kobo



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp

有馬街道ぶらり探訪 その6

与志朗

湯山古道の急坂を上ったところに建設された船坂小学校は、集落の過疎化による少子化により、平成22年3月31日をもって廃校となりました。時代の流れを刻んだのです。運動場の西端の記念碑に刻まれた文字に、おや？と頭を傾けられる方がいるのではないのでしょうか。石碑には「明治5年開校138年の歴史の跡」とあり、閉校行事では「明治6年開校137年の幕を降ろす」と言います。どうなっているのか？ そこでこの謎について書いておきましょう。

「兵庫県史」「西宮市史」では、「明治5年12月5日に舟本小学として船坂村に開設、生徒数38人」と記されています。しかし、船坂小学校沿革誌には「明治6年2月に開校」と記されています。どちらを採用するかと検討された結果、平成16年3月3日、西宮市教育委員会は沿革誌を参考として「明治6年2月1日開校とする」旨の通達を出しました。西宮市最古の小学校でなくなりました。

ここで小学校の呼称についても少し触れておきましょう。船坂小学校沿革誌には「明治6年2月に善照寺本堂を以って校舎とす」「明治12年2月に舟本小分校と称す」とあります。しかし、分校から本校への独立の記載はありません。沿革誌は「明治22年6月に船坂簡易小学校と改正する」と続きます。しかし、明治21年の卒業証書には船坂簡易小学校と書かれている矛盾があります。山口小学校沿革誌には「明治13年12月村立山口小学校となり、“船坂村に分校を置く”」「明治20年4月に山口簡易小学校と改正し、“船坂分校独立す”」とあります。

年月の矛盾は、両校の沿革誌とも明治後半になって作成されているために生じたものでしょう。



次に舟本小学から船坂小学校への移行ですが、沿革誌には一切その記述はありません。卒業証書が揃えばはっきりするのですが、明治12年の卒業証書は船本小学です。簡易小学校時の卒業証書は船坂簡易小学校となつていますから、村立小学校として独立した時にでも改正したのではないのでしょうか。また、舟から船への移行ですが、船坂小学校沿革誌の明治12年の条に「舟

本小学」とあるだけで、明治8年の卒業証書は「船本小学」とあります。山口小学校沿革誌では頭書から“船”になっています。西宮市史も“船”です。明治30年前後の卒業証書には「船坂小学校」の文字が使われています。地名には時代の流れにより呼び名や漢字が変わっているものが多く見受けられます。舟から船への移行も同じような理由からだと推察されます。

船坂小学校の卒業式は117回目で終わりました。最後の卒業証書の番号は924番でした。開校後20年間卒業式が無かったということです。明治25年10月13日に「船坂尋常小学校」と改称され、この日を創立記念日としたことから、どうもこの年から正式な卒業式が行われるようになったと推察されます。少々永く居すぎました。疲れませんか？

船坂方言教えて！

地域の違いが生み出す言葉、船坂地域だけで使用される語。それが方言です。どんな言葉があるでしょうね。集めています。下記までご連絡ください。
坂田芳郎(904-2569) 平井雅博(904-1453)
または公会堂前「船坂新聞ポスト」

船新三二情報欄

野球部 “元気” 報告！！

復活野球部が元気です。
北福敬三監督率いるパセリーズ。
山口リーグ戦で3勝1敗。
次の試合は7月18日



Kobako Vege
こばこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com



セブン-イレブン
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

Daddy's Bakery
est. 2001



〒651-1423 西宮市山口町船坂90
TEL : 078-907-3920

突撃!!

農家さん! 紹介 Vol. 1

知ってるようで知られていない農家さん、代々農業をされてる方、ここ数十年で農業をされている方、様々な農業に取り組まれている農家さん、船坂の農家さん紹介コーナーです。

中西 元治さん



初回第1弾は、中西元治さん。奥様、紀子（としこ）さんと仲良くケンカしもって農業をされている七代目。現在70歳。電気土木を40年今も現役で、その傍ら農業をされている。電気土木はもう引退したい、農業に従事したいと考え中だとか。

田んぼは1反、畑は450坪。朝5時に起床、一通り見回ってからのご出勤。今、作っている作物はきゅうり、なす、とうがらし、キャベツ、にんじん、だいこん、時無し大根、三度豆、トマトなどなど。農薬使用は1回のみ、出来るだけ使わなくていい野菜にはかけない。

後継者の事は考えていない、若いもんがやりたいと言うならやればいい、身体の動けるうちは妻の紀子さんと仲良くケンカしもって農業をやって行きたいと、夫婦仲良し農家さんでした。いいなあ〜!! (小林 ひとみ)

船坂川をきれいにしよう!

いよいよ夏本番。今年も船坂川上流のバーベキュー河原のゴミを、小中学生中心に拾います。毎年、スポーツクラブ21船坂や老人クラブ等、多くの方々に参加していただいているこの事業も4年目を迎えました。豊かな自然の残る船坂川。いつまでもきれいでいてほしいですね。

今年は7月25日(日) 午前9:30に山王神社集合です。(鮫貝季子)

編集後記

絵:なるせ かなわ



橋本悦夫

梅雨でうっとうしい天気が続いています。でも、雨がやんだ後の新鮮な空気と、色鮮やかな緑は船坂ならではですね。

絵:なるせ わなか



中西 学

サッカー・ワールドカップで大健闘の日本チーム。その中でも本田・長友らの若手が活躍。船坂でもこれからきっと多くの若手が活躍してくれる…って、ひょっとしてプレッシャーかけすぎ? (; _ ^ A ｱｱｱ…

※前号の記事中、消防分団の防災訓練の日を誤って記載していました。正しくは[8月8日(日)]です。謹んでお詫びいたします。

calendar (7/11~8/8)

7/11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4	5	6	7	8	船坂のサークル活動	アソシエイト
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	バレーボール	グランドゴルフ
自治会定例会							古民家再生活動日	新聞編集委員会 芸術祭実行委員会 TENNISワークショップ		農業農地考える会	老人クラブ定例会	老人クラブ ダイヤ結婚祝い会		自治会救急講習 船坂川清掃			たんぼぼ読み聞かせ				たんぼぼ図書室開放							消防分団防災訓練	水 19:30	水・金 13:30
																												テニス	ヨガ	
																												土日 9:00	月 10:00	
																												水 9:30	火 19:30	
																												クォーターテニス	ゴルフ	
																												2・4土 19:30	年3~4回	



株式会社 加登

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4
TEL:078(904)3843 FAX:078(904)0169
<http://www.forever-kato.co.jp>



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
<http://www.kozaidonya.com>



ガレージ&カフェ ペニーレーン

〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
<http://www.penny-lane.jp/>



船坂地域のみなさん

昨年のビエンナーレ～プロローグ～では、坂田芳郎実行委員長のもと、船坂一丸となって多くの来場者をお迎えして自然豊かな船坂を知っていただき、一気に「船坂」の名を有名にしました。

船坂以外の檀家をまわっていると「船坂はすごくいい所なんですね」と感心され、とても嬉しく思います。

今年はいよいよ本格実施の初年度です。次に開くのは再来年（平成24年）です。

今年の出足はちょっと準備不足でしたが、40名を超える推進委員の皆様の頑張りで、なんとか順調に準備を進めております。今年も、地域の皆さんにボランティアや協賛金のお願いをすることとなりました。何卒船坂地域を活性化する目的で開催する芸術祭に、ご協力賜りますよう、よろしくお願いします。（山口町内など他地域にもボランティアと協賛金のお願いをすることとしております。）

船坂里山芸術祭推進委員会 委員長 松本義博（善照寺住職）

「経済は文化のしもべ」

「経済は文化のしもべ」は、ベネッセ（旧福武書店）会長：福武綾一郎さんの有名な言葉です。「文化が高まってこそ、はじめて地域の経済は発展する」という意味のようです。

幸いにして船坂は明治維新に西洋文化をいち早く取り入れ、船坂小学校の開校も西宮で1・2と言われています。船坂は、裏六甲の地方道とは言え、昔から交通の要所として先進文化の影響を受けて一定の文化を保ち、小さな集落ながらも寒天・パセリなどの産地として、その名を誇ってきました。

しかし残念ながら、昨今は船坂農業が生業として成り立ちにくくなり、後継者不足から子どもが激減し、ついに今年の春には137年の伝統を誇る船坂小学校が廃校となってしまいました。ふと気が付くと、若者の多くは他所へ移住し、3～4人に1人は高齢者という集落になってしまいました。そして昨今は、農地を借りて耕作をされている多くの都会の人たちの姿を見受けるようになりました。

ビエンナーレは、有志を中心にこの船坂を再び活性化したいとの思いで始められた芸術祭です。兵庫県や西宮市からもこのビエンナーレの取り組みを高く評価され、去年は阪神南県民局地域づくりグランプリ（最優秀賞）にも選ばれました。西宮市からも「行政も協働してやりましょう」と“西宮市の協働事業”として採択してもらっています。

芸術文化が高まれば、即、地域の経済も良くなるとは言えませんが、自然豊かで人情あふれる船坂の良さをアピールし、それを多くの人々に認識していただくことによって、海拔400mの高地農産物の美味しさや船坂農地への関心が高まり、地域活性化に繋がっていくものと思います。

ビエンナーレに対する地域外からの注目は想像を超えるものがあり、今年はNHKテレビなどマスコミの後援や他地域からのボランティアなど、昨年以上に船坂地域の活性化を援助しようとの雰囲気広がっています。

来場者による耕地侵入などビエンナーレ開催に伴うマイナス要素を全力で防止しながら、今年も船坂活性化に向けて地域一丸となって取り組みましょう。若者にとっても魅力を感じてもらえる船坂に、そして子どもたちには楽しい思い出を残してもらいましょう。

西宮船坂ビエンナーレ 2010 開催要項 (案)

テーマ つながる relationship

会 期 平成22年10月10日(日)～11月14日(日) 水曜日定休(11/3祝除く)

10:00～17:00(案内所受付は16:00まで)

主 催 船坂里山芸術祭推進委員会

共 催 船坂自治会 船坂子ども会 船坂老人クラブ 船坂農地農業を考える会 船坂新聞

後 援 兵庫県 西宮市 西宮市教育委員会 西宮市文化振興財団 山口町自治会連絡協議会

(財)山口町徳風会 J A兵庫六甲山口支店 阪急バス株式会社 西宮流

NHK神戸放送局、朝日新聞社、朝日放送、関西テレビ放送、神戸新聞社、さくらFM、

産経新聞社、サンテレビジョン、日本経済新聞社、毎日新聞社、毎日放送、読売新聞社、

読売テレビ放送、ラジオ関西

協 力 有馬温泉観光協会、六甲ミーツ・アート、宝塚映画祭実行委員会、銀聲舎、NPO 法人 J-heritage、

日本テレマン協会

会 場 旧船坂小学校、棚田・段々畑、茅葺古民家など。

本 部 旧船坂小学校ランチルーム棟。

駐車場 旧職員駐車場、上中駐車場。土日祝は農協、善照寺も。(旧学校運動場は臨時駐車場)

フリーマーケット 船坂住民や耕作者に、自宅前等で来場者に野菜や加工品等を販売してもらう。

生きろカフェ 旧船坂小学校ランチルームで「生きろカフェ」を運営。

参加作家 全国から28名 ドイツから5名 合計33名

<棚田エリア>

鈴木孝幸(愛知)、宮西麻衣子(大阪)、江上 弘(千葉)、野口美香(神奈川)、高原和子(大阪)

藤井龍徳(栃木)、麻谷 宏 (京都)、福永 宙(西宮)

<湯山古道エリア>

ロルフ・ベルグメイヤー(ドイツ)、トルステン・パトリシュ・ブルッフ(ドイツ)

黛真美子(神奈川)、玉置りさ(神奈川)、西村正徳(三田)、田中 直樹(大阪)、田口行弘(ドイツ)、

本多真理子(埼玉)、中瀬康志(金沢)、勝木繁昌(香川)

<旧船坂小学校>

後藤章子(愛知)、勝木繁昌(香川)、開発 好明(東京)、吉本直子(京都)、小林俊哉(東京)

田中和人(京都)、吉井貞俊(西宮)、有坂ゆかり(東京)、端 聡(北海道)、福永 宙(西宮)

ヨッヘン・レンペルト(ドイツ)、サビネ・モーア(ドイツ)、オーレ・ヘンリック・ハーゲン(ドイツ)、

藤本由紀夫(大阪)、古巻和芳(宝塚)、麻谷 宏(京都)、鈴木貴博(宝塚)



ボランティアのお願い

今年は、昨年の2倍以上の作家さんが参加され、旧校舎が会場として増えることとなり、ボランティアの人数も昨年の2～3倍が必要となってきます。

昨年ボランティアとしてご活躍いただいた皆さん、そして今年こそはボランティアをやってもいいと思われる皆さん、ふるってボランティア登録をお願いいたします。今年は山口・北六甲台など他地域へもボランティアのご協力をお願いする予定です。

開催までの仕事は、滞在制作中のアーティスト補助・ワークショップ補助・会場設営などがあります。開催期間中は、受付・展示会場整備・案内・イベントサポートなどがあります。英会話が少しでもできる若者の皆様のボランティアも募っております。

ボランティアにご協力いただける方は、8月10日までに近隣の推進委員または案内部長：坂口富夫（904-2562）、事務局長：池田竜和（904-3467）までご連絡をお願いします。

8月下旬にボランティア説明会を行い、仕事内容などの打ち合わせを行います。

芸術祭の期間中に行う主な行事（案）

10月 9日（土）開会セレモニー

10月10日（日）開会。

全国の芸術祭実行者たちによるシンポジウム「アートと町おこし」

10月11日（月・祝）

10月16日（土）船坂そば屋、活動大写真上映会

10月17日（日）やんじゃパフォーマンス（あちらこちらで）

10月23日（土）

10月24日（日）船坂ふれあい広場・収穫祭（運動場）、

蕨餅パフォーマンス＋歌会

10月30日（土）松本芽紅見ダンス、サブカルトークナイト、

10月31日（日）古典邦楽&西洋古楽公演

11月 3日（水・祝）

11月 6日（土）船坂そば屋、スウェーデン古楽デュオ

11月 7日（日）大阪芸術大学錦影絵公演、

絵本オペラ「おべろん」&詩歌句（公会堂 or ランチ）

11月13日（土）バロックダンス

11月14日（日）閉会

* 作品ツアー 毎週土日祝の午前10時30分 or 午後1時30分から作品ツアーを行う。

* 企画協賛展 岡田安紀子陶芸展（古民家再生）、長瀬真弓陶芸展（糞釜）、
船坂地域住民作品展（JAふれあい会館）



協賛金のお願い

昨年は、多数の地域の皆さんから協賛金をいただき、おかげでなんとか必要最小限の費用を賄うことができました。しかし、遠くから来られる作家さんの交通費、何日も通っていただいた学生ボランティアの交通費、チラシ・ポスターのデザイン料、展示会場使用料など、全国各地で行われているビエンナーレでは支払われている費用を支払うことができませんでした。

今年も、それらの費用を支払える見込みは立っておりません。県・市に助成金の申請を行っておりますが、他県・他市のように多額の助成額は期待できません。しかしながら、全額は払えなくても、気持ちだけでもお礼を込めてお支払いしたいと望んでおります。

そこで、長引く不況の中、大変恐縮ですが、今年も地域の皆さんに協賛金のご協力をお願いしたいと思います。個人1口1,000円、店舗・団体1口5,000円をお願いいたします。なお、協賛金にご協力いただきました店舗等につきましては、期間中に配布するパンフレットに広告掲載をさせていただく予定です。

協賛金にご協力いただける方は、次の3日間、協賛金の受付をさせていただきますので、お手数ですが、現金ご持参の上、お申し出いただきますようよろしくお願いいたします。

日 時 7月30日(金) 31日(土) 8月1日(日) の各午前10時から12時まで
場 所 J Aふれあい会館(芸術祭推進委員が受付いたします)

なお、この3日間ご都合の悪い方は、下記推進委員へお渡しいただくか、または次の口座へ直接お振込みをお願いいたします。

兵庫六甲農業協同組合船坂出張所

普通預金口座0003330 船坂里山芸術祭推進委員会

* 芸術祭推進委員(船坂在住者)

(顧問) 坂田芳郎、中西博子

(委員長) 松本義博 (副委員長) 酒井博司、平井雅博、坂口文孝、黒木富美子

(会計) 八濱雅彦 亥角英つ子 (監査) 宮本 守 野口 進

(事務局) 池田壱和 池田峯代、

(会場部) 成瀬嘉考 米田和之、中西亜希子

(宿泊部) 西口英二、大前節子、亥角洋子、プライス里佳

(作品部) 尾崎清政、宮本勝夫、北福敬三、亥角智行、中田 隆、芦田勝也、宮里 清

(案内部) 坂口富夫、坂口洋子、亥角さくら、平井ちゆ子、野口順子

←切り取り線→

協賛金申込書

(住所氏名をご記入の上、推進委員またはJ A船坂出張所へ現金を添えてご提出ください。)

2010年____月____日

協賛金 _____ 口 _____ 円

ご住所 西宮市山口町船坂 _____

お名前 _____

(推進委員受領用) 領収書

2010年____月____日

____様

協賛金 _____ 円受領しました。

推進委員氏名 _____ 印